

ミュージアムキッズ 2

2015.12.1

ミュージアムキッズ vol.2 頒布価格 200円

発行日 2015年12月1日
 発行人 清水文美
 編集委員 ミュージアムキッズ編集委員会
 新井真由美 泉田佳代 鬼本佳代子☆ 蒲池昌江 黒川周子 清水文美
 齋藤義朗 高瀬優子 松田万緒 水谷亜希 八木剛 八尋智之
 山下治子 和田かおり 岡野麻衣子 (☆今号編集長)
 ユースレポーター 大場真実 大松真菜 小沼佳菜実 小野寺かこ 齋藤佑衣
 萱場優紀 佐藤萌 征矢彩香 三上響

発行 こだも☆ひかりプロジェクト
 デザイン・DTP印刷 (株)アム・プロモーション
 イラストレーション いよりふみこ ((有)アイツアソシエイツ)
 題字 佐藤いずみ



こだも☆ひかりミュージアムストリート (AER 2F オフィスロビーにて)
 子どもたちの好奇心を、若者たちのチャレンジを、
 私たちは、応援します。

Shop and Wander
AER
 ショップ&ワンダー エール
 〒980-6104 仙台市青葉区中央1丁目3-1 TEL 022-723-8000 URL <http://www.sendai-aer.jp/>

CIA は、ミュージアムキッズを応援しています。

ブランドづくりのお手伝い。

- | | |
|-------------------|-------------|
| EVENT PRODUCE | イベントプロデュース |
| WEBSITE CREATION | ウェブサイト デザイン |
| DESIGN & PRINTING | デザイン&印刷 |
| SYSTEM SOLUTION | システム構築 |
| VIDEO PRODUCTION | 映像編集 |
| BRANDING | ブランディング |



株式会社 CIA
 〒960-0719 福島県伊達市梁川町やなかわ工業団地90番地1
 TEL.024-577-0075 FAX.024-577-7676
<http://www.cia.co.jp>



ミュゼ Vol.112
 2015年10月

特集 こだも☆ひかりプロジェクト
**ミュージアムキッズ
 創刊!**

ミュージアムエデュケーションの
 広がる可能性

<対談>
ICOM 京都大会開催に向けて
 続・愛すべきミュージアムグッズ



ミュージアムに関わる大人たちが、
 ミュージアムをよくしようと読んでいる雑誌
 「ミュージアムキッズ」と親子のような雑誌です。

発行/株式会社アム・プロモーション
 〒108-0014 東京都港区芝 4-3-2-110
 TEL.03-6453-7878
<http://www.musee-um.co.jp>

🌸 ワークショップどきどき体験

ファミリーDAY(福岡市美術館)のアートワークショップに潜入!
 こだも☆ひかりプロジェクト ミニフェスティバルをとことん楽しむ!

🌸 ワークショップ@ミュージアム【冬~春】

🌸 ユースインタビュー

兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲さん
 「ミュージアムは、エアコンの効いた公園?」



ミュージアムキッズについて

この冊子は、東日本大震災で被災した子どもたちを笑顔にしたいと集まったミュージアムの関係者たちによる団体「こども☆ひかりプロジェクト」が制作・編集しています。「こども☆ひかりプロジェクト」は、2012年の夏から東北各地で子どものためにワークショップ等を展開してきました。そのような経験から、展覧会だけでなく、ミュージアムの体験的な活動を紹介し、活用してほしいとこの冊子を作りました。なお、記事の取材・執筆に当たった「ユーススタッフ」（通称ユース）は、「こども☆ひかりプロジェクト」の運営をサポートしている仙台市を中心とした大学生たちです。全国の子どもたちと保護者の皆さまにミュージアムの活動と魅力を知っていただければ幸いです。

ミュージアムキッズ編集部

Musée
から生まれた
キッズです

ミュージアムキッズ

2015.12.1 ②



【予告】 **全国**

ミュージアムキッズ！フェア

～東北発、全国の子どもたちへ～

2016年6月25日(土)・26日(日)
仙台市卸町 サンフェスタ

こども☆ひかりプロジェクトが、5年間の経験とつながりを凝縮してお届けする、究極のミュージアムイベント。全国から集結したミュージアムが、2,000㎡の大空間で、キラキラ体験をプレゼントします。完全予約制。プログラムや申込方法などのくわしくは、2016年春、ホームページでご案内します。

全国のミュージアムキッズたち、仙台に、集合！
<http://www.kodomohikari.com>



プルデンシャル生命は、こども☆ひかりプロジェクトとユースの活動を応援しています。



プルデンシャル生命は、「こども☆ひかり倶楽部メンバー」としてプロジェクトの活動を応援しています。こども☆ひかりプロジェクトとユースの活動から、子どもたちにたくさんの夢と希望が提供され、子どもたちの笑顔から地域社会が明るくなるよう、これからも応援していきます。



何かお困りのことがございましたら下記までお問い合わせください

■仙台支社/022-262-7288 ■盛岡支社/019-604-9051 ■秋田支社/018-825-5561 ■郡山支社/024-991-9561
■カスタマーサービスセンター/0120-810-740 (平日8:00~21:00、土日祝日9:00~17:00)
プルデンシャル生命保険株式会社ドライデンカスタマーセンター (仙台本社) 〒981-3288 宮城県仙台市泉区紫山2-1-5

目次

ワークショップ
どきどき体験

04

ファミリーDAYのアート
ワークショップに潜入！
福岡市美術館

06

こども☆ひかりプロジェクト
ミニフェスティバルを
とことん楽しむ！

岩手県立児童館いわて子どもの森
南相馬市博物館

08 ワークショップ@ミュージアム [冬～春]

11 ミュージアムカフェ
12 ミュージアムなク・イ・ズ
13 ミュージアム Goods

14 会いたい、ききたい！ユース インタビュー
兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲さん

16 ミュージアムのすてきな人
国立民族学博物館 松田万緒さん

17 ミュージアムのそばにすてきな人
大阪教育大学名誉教授 田中恒子さん

18 <突撃インタビュー>
ゾウ×カボチャ=クッキー！？
とっておきかぼちゃのとっておきな体験を

19 ミュージアムなク・イ・ズ [こたえ]
編集後記

表紙写真：「キラキラリゅうぐうじょう」の
一コマ (本文 p6-7 参照)
撮影：八木 剛

ワークショップ どきどき体験

ミュージアムって、古い道具や
いろいろな生きものの標本、
それに美術作品が展示されているところですが、
ワークショップなどの体験型プログラムも
いろいろと行われています。
さて、どんなものなのか、ユース（大学生）が
体験しました。

ファミリーDAYの アートワークショップに潜入！ 【福岡市美術館】

10月31日（土）、11月1日（日）、
11月3日（火・祝）に行われた、福岡
市美術館（以下福岡市美）の「ファミリー
DAY」に潜入してきました！

「ファミリーDAY」とは、福岡市美の開
館記念日である11月3日と、その前後
の土日3日間に毎年開催されている教育
普及企画です。対象は未就学児から小学
生とその保護者で、3日間でさまざまな
アートワークショップを体験することが
できます。

ここでは、ちょっと気になる2つのワー
クショップをレポートします！

ミニミニワークショップ

福岡県在住のアーティストがデザインし
たキュートでワクワク感あふれる福岡市美
のキッズコーナー「森のたね」。ミニミニ

ワークショップは、そんなキッズコーナ
ーで行われる未就学児対象プログラムで、「森
のたね」にちなみ、想像力をはたらかせな
がら素材を自由に切って、貼って、世界に
ひとつだけの「森のなかま」を作ります。

まずは、大きなタネ型の箱が登場。この
タネの中には、実はストロー、たわし、木
片、モール、紙コップ、スポンジ、リボン
など、さまざまな手触りの色とりどりの素
材が詰まっています。今回は「秋」をテー
マにした、秋色を思わせるフェルトやマツ
ボックリ、小さなかぼちゃのおもちゃなん
かも。タネの上には丸い穴があいていて、
その中に3回手を入れて、3つの素材を
引っ張り出します。もちろん、参加する子
どもたちには中身は見えません。好奇心旺
盛に中をのぞき込もうとする子、おっかな
びっくりなかなか手が入れられない子、手



おっかなびっくり、種類の箱から素材を引っぺがります



3つの素材とはさみとテープだけで作品制作



を入れて中の素材の感触を楽しむ子、反応
もさまざまです。そして、取り出した素材
と、用意されたセロハンテープやホログラ
ムテープ、はさみを使って早速「森のなか
ま」の制作開始！

私も実際に体験してみました。これが
なかなか難しい。森のなかまということで、
生き物らしきものを作ろうとすると、どう
しても「もう少し材料の種類があつたらな
あ」と考えてしまうのですよね。

一方で、子どもたちの発想は豊かです。
チョキチョキ、ペタペタ。みるみるうちに
芸術的な作品を作り上げていきます。でも、
中には、制作そっちのけで、ずっとはさみ
でリボンを切り続けたり、あるいはじっと
考えこんでいる子もいます。ですが、担当
の学芸員さんによると、それもOKとの
こと。とにかく、未就学児たちの「初めて



絵からどんな物語が飛び出すか？皆でセリフを考え中



色水を入れた、いろんな道具で大きな絵を描こう！



CDの破片で螺鈿細工のようなキラキラ作品を作ります



実際に展示している作品と見比べてみると…

の体験」をサポートするのがこのワーク
ショップなのだそう。

とはいえ、出来上がった作品はどれも魅
力的！そして、どの子も笑顔で帰って行っ
たのが印象的でした。

絵からとびだすものがたり

こちらはなんと、展示してある絵画から
子どもたちがさまざまな場面を想像して台
本を作り、劇にして発表するというプログ
ラムです。

まずは受付、グループ分けから。3～5
人くらいで1グループになります。グルー
プごとに、ガイドボランティアさんが付き
添って、展示してある作品を鑑賞します。
ガイドボランティアさんからの「何が見え
るかな？」という問いかけに、絵に描いて
あるものを次々と答える子どもたち。その
後、この絵の場面はいつ、場所はどこなの
か、そして絵の中では何が起きているの
かを考えていきます。

そして見たものを登場人物にして、台
詞を考えます。時には描かれていないもの
が登場することも。最後にみんなで劇をつ
くって発表します。

では、子どもたちはいったいどのような
物語を作ったのでしょうか？昨年のような

からちょっとご紹介しましょう。鑑賞した
作品は庄野伊甫作の《台所》。下の写真の
絵です。



子どもたちが実際に作った台本はこちら
です。

タイトル「よるのおしゃべりかい」
ナレーション：ここは、ちょっとむかしのお
いいえ。よるごはんのチキンカレーをつ
くったあとのおはなしです。

おうちのひと：カレーおいしかったねー。
ちいさいなべ：わたしはふるいけど、まだつ
かえるからつかってね。

チキン：ぼくはおいしいカレーになれたよ！
にんじん：1人いなくなったね…。

大なべ：まだまだたくさんつくってほしかっ
たなー。

たまねぎ：つくったひとになみだをだせな
かったよー。

たまねぎ：つかわれなくてよかったー。でも

ともだちがいなくなっちゃった。あーどうし
よう。

描かれたものひとつひとつを観察して台
詞を考えているだけでなく、絵には描かれ
ていなかったおうちのひとが出てきたり、
子どもたちの観察力と想像力に驚きます。
実は、このプログラムは、ガイドボランティ
アさんが考案したそうです。すべての子ども
が発言できるように気を配ったり、話を
広げるためのボランティアさんの工夫も、
子どもたちが楽しんで参加できる秘訣なの
でしょう。

さて、「ファミリーDAY」のおもしろ
さは伝わったでしょうか？子どもたちはも
ちろん、保護者の皆さんも「へえ、そうなん
だ！」と新たな発見があったり、お子さん
の成長が見られたりと楽しめること間違
いなしです。全部ご紹介できないのが本当
に残念です！！

そんなみんなが笑顔になれるワーク
ショップは全国のミュージアムで実施され
ています。皆さんも、地域の、あるいは旅
行先のミュージアムにぜひ立ち寄り、体
験してみてください！！

（佐藤 萌）

福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL.092-714-6051 / FAX.092-714-6145
ホームページ <http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

●開館時間 9:30～17:30（入館は17:00まで）
7～8月は19:30まで開館（入館は19:00まで）
ただし日曜・祝日を除く

●休館日 毎週月曜日（月曜日が祝・休日の場合は開館し、その後の最初の
平日が休館）12月28日～1月4日

●観覧料 【常設展示】
一般200（150）円、高大生150（100）円、
小中学生無料（ ）内は20名以上の団体料金
○次の手帳等をご提示の方は無料。
療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳（以上は介護者1人を含
む）/ 特定疾患医療受給者証/ 特定医療費（指定難病）受給者証/ 先天性
血液凝固因子障害等医療受給者証/ 小児慢性特定疾病医療受診券/ 福岡市、
北九州市、熊本市、鹿児島市在住で、住所と65歳以上を確認できる証明書

【特別展示】
各展示会によって異なりますので、美術館までお問い合わせください。

お知らせ 福岡市美術館は2016年9月1日から2019年3月までリニューアルのため休館いたします！リニューアルオープンまでの2年半、
皆さんにご利用いただけないのはとても寂しいですが、まずは今の姿を見に、2016年8月31日までに越えたいだけと嬉しいですが。



こども☆ひかりプロジェクト ミニフェスティバルをとことん楽しむ!

【岩手県立児童館いわて子どもの森、南相馬市博物館】

2015年9月26日(土)27日(日)に岩手県立児童館いわて子どもの森(以下子どもの森)で、さらに10月11日(日)12日(月)に南相馬市博物館でこども☆ひかりミニフェスティバルが催されました。ここではそのようすをご紹介します。

岩手県立児童館いわて子どもの森

最初にリポートするのは、岩手県奥中山にある岩手県立児童館いわて子どもの森でのミニフェスティバルです。自然に囲まれたこの施設には、子どもたちが遊んで学べるさまざまな楽しい仕掛けがあります。まず、施設の中央には大きな滑り台があり、冒険の塔「のっぴい」と呼ばれています。入り口からそこまで向かう「くらやみトンネル」は、まるでSF映画のように照明が変わり、音楽が流れています。「のっぴい」のまわりには、銭湯を模したスペース「おもちゃ湯」や、トランポリンのような遊具、お寿司屋さんや電車の運転手に扮して遊べるブースがあり、子どもたちが目をキラキラさせながら、思い思いにさまざまな遊びにチャレンジしていました。また屋外に目を向ければピクニックが楽しめるイスとテーブルが用意されており、施設内にはレストランや宿泊施設までそろっています。家族で来れば、一日遊んでも飽きない、そんな素敵な場所でのミニフェスティバルに、筆者を含め、13人の「こ



身体をいっぱい使って大きな絵を描きました。大海原のようす

ども☆ひかりプロジェクトユーススタッフ(学生ボランティア)も参加しました。

この岩手でのミニフェスティバルでは、前日に、さらに「プレフェスティバル」を開催しました。このプレフェスティバルは、我々ユーススタッフ(以下ユース)が、学芸員・研究員の方々と顔合わせをしながら本番で使う道具の使い方、流れを学び、自分たちも実際にプログラムを参加者として体験してみる、というものです。この日は、青や黄色などの絵の具をポタポタと落として色の変化を楽しむ「みずたまであそぼ!」や放散虫というプランクトンの化石のイラストカードに色塗りをするなど、その場ですぐに参加できるプログラムを行いました。周囲の子どもたちも「なにそれー?」と興味を持って楽しく参加してくれました。

そして、ミニフェスティバル当日は素晴らしい秋晴れとなりました。筆者は今回、兵庫県立人と自然の博物館の研究員とともに、「小さな化石をさがそう! レプリカをつくらう!」を担当し、子どもたちに化石のおもしろさ、楽しさを知ってもらいたいのがんばりました!

この化石のレプリカを作るプログラムは、こども☆ひかりフェスティバル等での定番ですが、今回は、これまで使っていたアンモナイトの化石の型ではなく、放散虫の化石の型を使いました。本物の放散虫の化石



ユースに教えてもらいながら豪華客船クラフトづくり



を300倍に拡大し、3Dプリンタで作成された型に、お湯で柔らかくした色とりどりの「おゆるま」を入れて指で型に押し付け、水で冷やします。すると、綺麗な放散虫レプリカが完成!!この放散虫の型は、アンモナイトの型に比べ、ちょっと難しく、力がいります。しかし、子どもたちにとって、苦労なんて何のその!「とにかく完成させるんだ」という気合のもと、次々と色とりどりの化石を作り出していました。そんな何かに夢中になっているときの子どもたちの笑顔はいつ見ても嬉しいものです。

さらに、今回は、兵庫県の加古川と岩手県の北上川から採取したたくさんの石を使って種類の違う石を観察したり、化石を含んでいる石を探したり、化石のある石の表面を拡大撮影した写真を現像するプログラムも同時に行いました。さらに、「化石のレプリカ」「化石入りの石」「化石写真」の化石尽くしなお土産3点セットをプレゼントしました。化石探しは根気のいる作業ですが、見つけた子どもたちは「見えたあ!!」「あった!」と元気よく化石博士(このプログラム担当の古谷研究員)のもとへ突進して行きました。

ほかにも、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく」の中を、ブラックライトで光る魚で飾った「竜宮城」に仕立てたり、真っ白の大きな紙に手足を使っ



小石の中に何が見つかるかな?



木を磨くと、流木(写真手前)のように、ツルツルに

て青い絵の具で絵を描く「大きな絵を描こう!」があったり、プレフェスティバルでも好評だった「みずたまであそぼ!」、豪華客船の紙模型を作る「豪華客船のペーパーラフトをつくらう!」など海と青にちなんだプログラム、加えて色んな虫に触れる「いどうこんちゅうかん」と計6つのプログラムを行いました。どのプログラムもたくさん子どもたちが参加し、楽しんでくれました。

南相馬市博物館

そしてもう一つ、福島県南相馬市の南相馬市博物館でのミニフェスティバルのレポートです。この博物館の目の前には自然溢れる公園があり、ジョギングや犬の散歩をする方々が多く見られました。博物館に入ると、常設展示入り口すぐに、迫力ある野馬追の神旗争奪戦ジオラマがあり、驚きで思わず足が止まってしまうほどです。常設展示そのものは、南相馬についての資料、標本やジオラマなどが、自然・歴史・民俗にわけられて分かりやすく展示されています。

今回も、15名のユースが参加しました。そして、筆者は、キッズプラザ大阪の「みがこう!木のかげら」を担当しまし



どんな星座万華鏡ができるかな?

た。「え?!ただ磨くだけ?」と思った方、その通り「磨くだけ」です(笑)。けれど、磨きながらその木の感触や香り、色の変化を見て、感じて楽しみながら学びます。磨いていると檜や杉、桜などの香りの違いがわかってきます。おまけに、自分好みに磨き上げようと集中しだして、始めるとなかなか止められないのです。表面のざらざらした皮を綺麗に削り取った子や「ドレッサー」というヤスリを駆使し、表面に模様を描こうと真剣に削る子もいます。1時間以上頑張った子もいました!ちなみに、お母さんたちに人気だったのは、「黒文字」という香木の一種で、和菓子を食べる際に使う爪楊枝の材料です。たくさんの人々が磨いたお陰で、周囲にはすてきな木の香りが満ちていました。

ほかにも日本科学未来館の水圧で紙コップがどのくらい小さくなるのかという「広がるいのち・海底の水圧体験」やアクアマリンふくしまの移動水族館アクアラバンの「さわって感じる海の生き物」でナマコやウニに触ったり、九州国立博物館の「アジアの文化を五感で楽しもう」ではアングルという竹で作られた楽器で皆と演奏したり、射手座や牡羊座などの星座を選んで自



皆でハーモニーを奏でます

分だけの「星座万華鏡」を作ったりと豊富なプログラムを同時展開しました。

岩手でも行った「竜宮城」や「いどうこんちゅうかん」もとても好評で「もう1回!」と何度も体験してくれた子どもたちもいました(表紙)。中にはユースと手をつないで向かう子もおり、我々スタッフもまた、子どもたちとともに素敵な時間を過ごせたと実感しました。

こども☆ひかりを結成して4年経ち、3.11からも同じく4年経ちました。しかし、何年経っても変わらないこども☆ひかりの魅力は、1日で、1つの場所で、関西、関東、九州といったさまざまなミュージアムのプログラムを体験できることです。しかもどのプログラムも魅力的な学びに満ちていて、大人も子どもも楽しめます。

今年の最後は12月19日(土)に開催するミュージアムストリート。皆様に楽しんでいただけるよう私たちユースも頑張ります!

この活動は「全国のミュージアムと若者たちで育む、オーシャンキッズ!」プロジェクトと題し、船の科学館・海の学びミュージアムサポートの支援を受けて実施しています。

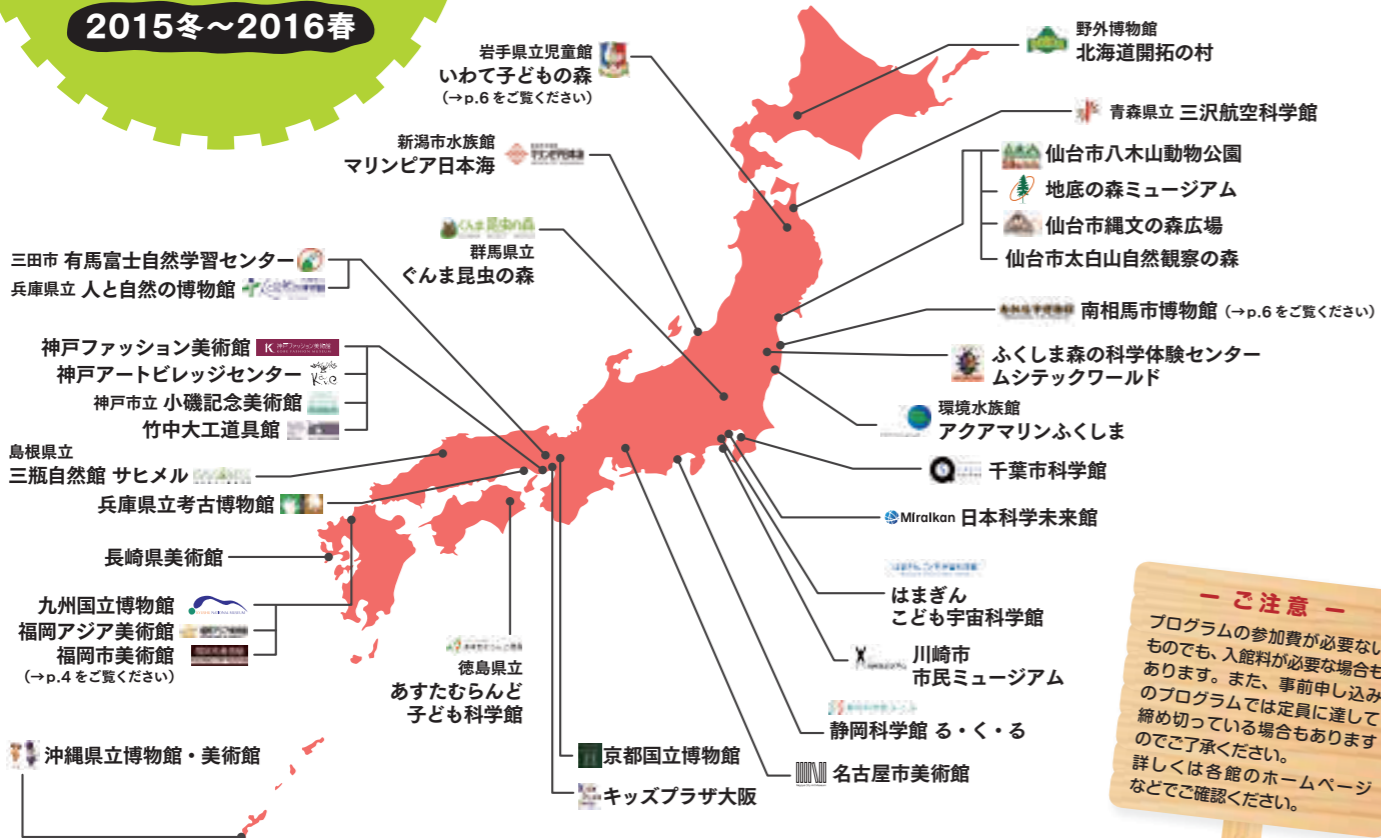
★ 岩手県立児童館いわて子どもの森	★ 南相馬市博物館
〒028-5134 岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子 1468-2 TEL.0195-35-3888 / FAX.0195-35-3889 ホームページ http://www.iwatekodomonomorji.jp/	〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口 194 TEL.0244-23-6421 / FAX.0244-24-6933 ホームページ http://www.city.minamisoma.lg.jp
●開館時間 9:00~17:00 ●休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日休館) 年末年始(12月29日~1月3日) そのほか、2月、4月・8月・11月に整備休館があります。 (詳細はホームページのカレンダーをご覧ください)	●開館時間 9:00~16:45(入館は16:00まで) ●休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日) 12月29日~1月3日 相馬野馬追最終日の月曜日は開館(翌日休館)
●入館料 無料	●入館料 一般300(250)円、高校生200(150)円 小・中学生100(80)円 ()内は20名以上の団体料金 ※南相馬市内と飯館村内に居住(住所を有する)または通学する小・中・高校生は無料です。 ※障がい者の方とその付添いの方1名は無料(手帳の提示が必要)です。

ワークショップ @ ミュージアム

2015冬～2016春

ミュージアムデビューは、ワークショップから。全国のミュージアムで行われるワークショップ、体験型プログラムのオススメ情報です。

どのミュージアムのどのワークショップでデビューしよう？



ー ご注意 ー
プログラムの参加費が必要ないものでも、入館料が必要な場合もあります。また、事前申し込みのプログラムでは定員に達して締め切っている場合もありますのでご了承ください。詳しくは各館のホームページなどでご確認ください。

ほっかいどう

野外博物館 北海道開拓の村

北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1
TEL.011-898-2692
<http://www.kaitaku.or.jp>

親子チャレンジ!
紙すきで年賀状&クリスマスカードづくり

●日程 12/5(土)
●時間 13:00～16:00

対象 小学生以下親子 定員あり 参加費あり 申込要
クリスマスカードや年賀状にも使える、牛乳パックから作るポストカードを作りませんか？ポストカードの模様や色など、親子一緒に相談して、楽しみながら作りましょう。

親子チャレンジ!
竹馬づくり

●日程 2016/3/21(月・休)
●時間 13:00～16:00

対象 小学生以下親子 定員あり 参加費あり 申込要



間もなく春！雪がとけると外で思いっきり遊べる季節となりますが、今年の春は親子で作った「竹馬」で遊んでみませんか！日曜大工が得意なお父さん、出番ですよ！

あおもり

青森県立 三沢航空科学館

青森県三沢市大字三沢字北山 158
TEL.0176-50-7777
<http://www.kokukagaku.jp/>

偏光万華鏡を作ろう

●日程 2016/1/2(土)～1/17(日) ※1/15は無し
1/23(土)・1/24(日)・1/30(土)・1/31(日)
●時間 ① 11:00～11:30 ② 14:30～15:00

対象 なし ※小学生以下保護者同伴 定員あり 参加費あり 申込不要(当日受付)



毎月土日祝日に内容を変えて行われているワークショップです。1月は、3Dメガネや液晶テレビなどに使われている偏光板を使った万華鏡を作り。万華鏡の仕組みや偏光板について楽しく学びながらオリジナルの万華鏡を作ってみよう！

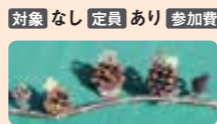
みやぎ

仙台市太白山自然観察の森

宮城県仙台市太白区茂庭字出森 36-63
TEL.022-244-6115
<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/>

木の実でつくるオーナメント

●日程 12/20(日)
●時間 13:30～15:30



森の中でマツボックリやケヤマハノキなどの木の実を拾い集め、室内でクリスマスに飾るオーナメントを作ります。

いわて

岩手県立児童館 いわて子どもの森

岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子 1468-2
TEL.0195-35-3888
<http://www.iwatekodomonomori.jp/>

冬休みスペシャル
とことん雪遊び&この指とまれ

●日程 2016/1/9(土)～11(月・祝)
●時間 11:00～15:00

対象 なし 定員なし 参加費なし 申込不要



外も中も、楽しいことがいっぱいイベント！外では、巨大かまくら作りや尻すべり。中では、ゴムとびや鬼ごっこ。雪にまみれて、からだを動かして、子どもも大人も思いっきり遊びましょう！

みやぎ

仙台市八木山動物公園

宮城県仙台市太白区八木山本町 1-43
TEL.022-229-0631
www.city.sendai.jp/kensetsu/yagiya

どうぶつたくさんおはなしかい

●日程 毎月第2土曜日(2016/1/9、2/13ほか)
●時間 13:00～13:30

対象 なし 定員なし 参加費なし 申込不要



毎月第2土曜日の午後1時から30分程度、ビジターセンターにて、読み聞かせボランティア「おはなしやま」による「どうぶつたくさんおはなしかい」を行っています。さまざまな動物が登場する絵本・紙芝居・手遊びのほか、動物の剥製(はくせい)や骨、うんちを間近にみることもできます。小さな乳幼児から楽しめるおはなし会です。

地底の森ミュージアム

宮城県仙台市太白区長町南 4-3-1
TEL.022-246-9153
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/>

冬キラ☆今日の主役は氷河期の森

●日程 12/12(土)・12/13(日)
●時間 15:00～19:00(予定) ※ライトアップ17:00～19:00

対象 なし 定員なし 参加費なし 申込不要



2万年前の富沢の景観を復元している野外展示「氷河期の森」、冬季2日間限定のイベントです。

古代米の稲ワラで正月飾りづくり

●日程 12/23(水・祝)
●時間 ①11:00 ②11:30 ③13:00 ④13:30 (各回30分)

対象 なし 定員あり 参加費なし 申込不要

地底の森ミュージアムで栽培している古代米の稲ワラを使って正月飾りをつくってみませんか。

仙台市縄文の森広場

宮城県仙台市太白区山田ノ台町 10-1
TEL.022-307-5665
www.city.sendai.jp/kyouiku/jyoumon/

週末体験講座

●日程 1/23(土)
●時間 10:00～12:00

対象 なし 定員あり 参加費あり 申込要



カラフルなガラスから「やじり」を作ります。

春休み特別イベント

●日程 4/2(土)・4/3(日)
●時間 10:00～12:00、13:00～15:00

対象 なし 定員なし 参加費なし 申込不要

普段できないこの日限定の体験ができます

ふくしま

ふくしま森の科学体験センター ムシテックワールド

福島県須賀川市虹の台 100
TEL.0248-89-1120
www.mushitec-fukushima.gr.jp

わんぱく自然塾④

●日程 2016/1/16(土)・1/17(日)
●時間 10:00～12:00

対象 親子 定員あり 参加費あり 申込要



冬の里山の木々や動物の活動の跡を観察します。おもちゃを食べることができますよ！

南相馬市博物館

福島県南相馬市原町区牛来字出口 194
TEL.0244-23-6421
<http://www.city.minamisoma.lg.jp>

勾玉をつくろう!

●日程 2016/3/6(日)
●時間 10:00～12:00

対象 なし ※小学校3年生以下保護者同伴 定員あり 参加費なし 申込要



縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、滑石で作ります。

環境水族館 アクアマリンふくしま

福島県いわき市小名浜字辰巳町 50
TEL.0246-73-2525
www.marine.fks.ed.jp

かつお節削り体験

●日程 毎日
●時間 9:30～15:30

対象 なし 定員なし 参加費あり 申込不要



最近では珍しくなったかつお節削りを体験できます。削ったかつお節は持ち帰れます。削りたてのかつお節のかおりもかいでみよう。

ぐんま

群馬県立 ぐんま昆虫の森

群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷
TEL.0277-74-6441
<http://www.giw.pref.gunma.jp/>

飼育室探検ツアー

●日程 土曜日、日曜日、祝日
●時間 土、祝 14:00～14:45 / 日 14:30～15:15

対象 なし 定員あり 参加費なし 申込不要(当日受付)



普段は見られない昆虫の飼育室をスタッフが案内します。

にいがた

新潟県水族館 マリンピア日本海

新潟県新潟市中央区西船見町 5932-445
TEL.025-222-7500
<http://www.marinepia.or.jp>

水族館いきもの教室

●時間 9:30～12:00(各日共通)

対象 4歳以上(小学生以上推奨) 定員あり 参加費あり 申込要

《アシカトレーナー体験初級編》

●日程 2016/1/24(日)

動物のトレーニングはどのように行うのか、体験しながら学びます。

《動物の排泄物に注目しよう》

●日程 2016/2/14(日)

ウンチやおシッコを観察しながら学びます。ピーパーのウンチを使って紙をつくります。

《魚拓をつくろう》

●日程 2016/3/13(日)

魚を手に持ち、よく観察してから魚拓をつくります。

アクアラボ体験

●日程 毎日
●時間 平日13:00～13:20 / 日・祝12:30～12:50

対象 なし 定員あり 参加費なし 申込不要



館内の「体験・学習ゾーン」にある「アクアラボ」で入館者向けに毎日開催している日替わりの体験プログラムです。例えば「クラゲの話」「かんたん!」にぼしの解剖」「隠れる生き物を探してみよう!」「ラッコの話」など。

ちば

千葉市科学館

千葉県千葉市中央区中央 4-5-1
TEL.043-308-0511
<http://www.kagakukanq.com/>

ワークショップ祭り

●日程 2016/2/27(土)・28(日)
●時間 10:00～16:00

対象 なし 定員あり 参加費あり 申込不要(当日受付)



毎日実施しているワークショップ。今まで実施した中から厳選したテーマを集め、様々な科学工作が体験できるお祭りを開催します。

里山生活体験「まゆ玉作り」

●日程 2016/1/9(土)
●時間 13:00～15:00

対象 なし 定員あり 参加費あり 申込不要(当日受付)

お正月に飾るまゆ玉を作る体験をします。

自然観察会「ミノムシ」

●日程 2016/2/7(日)
●時間 10:00～12:00

対象 なし ※小学生以下保護者同伴 定員あり 参加費なし 申込不要(当日受付)

ミノムシなど冬越しの昆虫を観察します。ミノムシのクラブ作りも行います。

とうきょう

Miraikan 日本科学未来館

日本科学未来館は、いま世界に起きていることを科学の視点から理解し、私たちがこれからどんな未来をつくっていくかをともに考え、語り合うサイエンス・ミュージアムです。

Miraikan Lab サテライト

見えない「水」を見つけよう
～色でわかるジメジメとカラカラ～

- 場所 RICOH Future House 3F コサイエ 神奈川県老名市扇町5-7 TEL.046-240-7998
- 日時 ホームページにて随時募集。 http://co-scie.com/mirailab

対象 小学3年生～中学生 定員 あり
参加費 あり 申込 要



手を洗ったり、飲んだり、普段は目に見えない水ですが、このプログラムでは、見えない水を見つける体験を通して水の三態について学びます。

※ Miraikan Lab サテライトは、日本科学未来館が開発した身近な科学から地球規模の現象まで学習できる科学体験プログラムです。

しずおか

静岡科学館 館・く・る

静岡県静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ 8～10 階 TEL.054-284-6960
http://www.rukuru.jp

めばえのかがかく

- 時間 10:00～11:00(各日共通)

対象 未就学児～小学校2年生親子 定員 あり
参加費 なし 申込 不要(当日受付)



めばえのかがかくは幼児連れの親子に向けた科学と出会うイベントです。簡単な科学工作などを通して「ふしぎ!」「なんで?」という心を大切に、科学的めばえをサポートします。ぜひ遊びに来てください!

《みかん大好き》

- 日程 12/26(土)
- みかんのしぼり汁を使って絵をかいてみよう!

《ふわふわビニールくらげであそぼう》

- 日程 2016/1/9(土)、1/23(土)
- 静電気を起こしてビニールくらげをふわふわ浮かせてみよう!

《プラスチックカップでキーホルダーをつくらう》

- 日程 2016/2/13(土)
- プラスチックカップを使ってキーホルダーをつくらう!

《こむぎこねんどでまぜまぜこねこね》

- 日程 2016/3/12(土)
- 色を混ぜると、どんな色に変わるかな?ためしてみよう!

かながわ

川崎市市民ミュージアム

神奈川県川崎市中原区等々力1-2 TEL.044-754-4500
http://www.kawasaki-museum.jp/

お正月 de ミュージアム

- 日程 2016/1/10(日)
- 時間 13:00～16:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要(当日受付)



市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業です。凧作りや羽子板作りなど、お正月の遊びや工作を体験できるブースがいっぱい!

はまぎん こども宇宙科学館

神奈川県横浜市磯子区洋光台5-2-1 TEL.045-832-1166
http://www.yokohama-kagakukan.jp

科学工作教室

- 時間 各日①10:30、②12:30、③14:00、④15:30

※12/23、1/31、2/28の回は定期入館券WEB会員限定

対象 小学生以上※未就学児は保護者が作製
定員 あり 参加費 あり 申込 不要(当日受付)

《ハニーキャンドル》

- 日程 12/5(土)、6(日)、13(日)、19(土)、20(日)、23(水・祝)
- 蜜ろうのシートをくるくる巻いて、キャンドルを作ります。ハチのことも学びます。

《藍でエコバッグを染めよう》

- 日程 12/27(日)、2016/1/10(日)、11(月・祝)、16(土)、17(日)、24(日)、31(日)



藍染で世界にひとつだけのエコバッグを作ります。藍染の歴史や、藍が染まる仕組みについての解説も行います。

《光るバルーンスライム》

- 日程 2016/2/6(土)、7(日)、11(木・祝)、14(日)、20(土)、21(日)、28(日)

ストローを使って空気を吹き込むとプクッとふくらむ、バルーンスライムを作ります。暗闇では淡く光ります。光るしくみについての解説も行います。

きょうと

京都国立博物館

京都府京都市東山区茶屋町527 TEL.075-525-2473
www.kyohaku.go.jp/jp

さわって発見!ミュージアム・カート

- 日程 12/15(火)～2016/3/21(月・休)の開催日の毎日
- 時間 10:15～16:15

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



写真提供: 美術館

絵巻の複製を使って、昔の人と同じように作品をみたり、仏像の模型を実際に組み立てて、どんな風に作られているのか体験したりできるよ!京博ナビゲーターさんと、たくさんおしゃべりしよう。

「禅心をかたちに」ミニワークショップ(予定)

- 日程 4/12(火)～5/22(日)の開催日の毎日
- 時間 10:15～16:15

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要

特別展覧会「禅心をかたちに」に関連したミニワークショップを、期間中毎日実施します。

おおさか

キッズプラザ大阪

大阪府大阪市北区扇町2-1-6 TEL.06-6311-6601
http://www.kidsplaza.or.jp/

Kids Plaza Osaka X'mas 2015 PARTY PARTY★

- 日程 12/19(土)～12/25(金)の開催日の毎日
- 時間 11:00～16:00 ※最終入場は15:30まで

対象 定員 参加費 プログラム毎に設定 申込 不要

きらきら楽しいクリスマス☆ストリートオルガンを奏でたり、ゲームにチャレンジしてみたり!おしゃれに変身したりして♪楽しいパーティーであそびましょ!すてきな講師をお迎えしてお届けする特別プログラムもあります。

世界をつなぐ日本の「OSHOGATSU」とびだす!鳥獣戯画の世界

～「日本最古の漫画」を体験しよう～

- 日程 2016/1/3(日)～1/11(月・祝)の毎日
- 時間 10:00～16:30 ※最終入場は16:00まで

対象 定員 参加費 プログラム毎に設定 申込 不要



日本には古くからマンガに似た文化がありました。12世紀半ばに描かれた絵巻物「鳥獣戯画」の世界を体験してみよう!ウサギやサル、カエルなどの登場動物たちとみんな仲良くなれるかな? 伝統行事などの特別イベント もりだくさん内容で実施します。

ひょうご

神戸アートビレッジセンター

兵庫県神戸市兵庫区新開地5-3-14 TEL.078-512-5500
http://kavc.or.jp/

OPEN KAVC 2016 「ひとマルシェ」

- 日程 2016/3/12(土)、13(日)
- 時間 11:00～18:00

対象 なし 定員 なし
参加費 なし(有料イベントあり) 申込 不要



2006年より、KAVCをより多くの方に知っていただくために開催している「OPEN KAVC 2016」を今年も開催! KAVCにゆかりのある作家たちのアート作品の展示販売や、雑貨店やカフェなどの出店、ワークショップなどのイベントコーナー、音楽ライブも実施します!「ひと」や「モノ」との出会いがぎゅっと詰まった2日間の「ひとマルシェ」。ぜひおこしください!

兵庫県立人と自然の博物館

兵庫県三田市弥生が丘6 TEL.079-559-2001
www.hitohaku.jp

ひとはく Kids サンデー

- 日程 12/6(日)、2016/1/3(日)、3/6(日)
- 時間 10:00～17:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



「のびのびキッズの好奇心」をテーマに小さな子どもたちがしぜん・かがくにふれるプログラムをたくさん用意してお待ちしています。

神戸ファッション美術館

兵庫県神戸市東灘区向洋町中2-9-1 TEL.078-858-0050
http://www.fashionmuseum.or.jp

いろいろな素材で平織体験

- 日程 2016/1/4(月)、1/5(火)
- 時間 13:00～17:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要

毛糸、麻、ビニール、紙、木くずなどを使って、自分だけのしおりを作ります。

落語家と行くギャラリーツアー

- 日程 2016/1/5(火)
- 時間 11:00～12:00

対象 小学生以上 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



特別展示「日本衣装絵巻—串弥呼から篤姫の時代まで」展を落語家の月亭八斗さんと一緒に見学します。こども落語教室付きです。当日は、お年賀として甘酒をふるまいます。

兵庫県立考古博物館

兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1 TEL.079-437-5589
www.hyogo-kouhokaku.jp/

節分一鬼瓦のお面で鬼退治

- 日程 2016/1/31(日)
- 時間 13:30～15:00

対象 なし 定員 あり 参加費 なし 申込 要

鬼瓦のお面を作って鬼を追いはらおう

神戸市立 小磯記念美術館

兵庫県神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880
http://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/

美術館大作戦

- 時間 14:00～16:30(各日共通)

対象 4歳～小・中学生※保護者同伴可 定員 あり
参加費 なし 申込 要

《美術館マイコレクション》

- 日程 2016/1/23(土)、2/27(土)

展示作品を見て、自分のお気に入りの形や色を集めて、自分だけのコレクション図鑑を作ろう

《お気に入りのかたちたんけん隊》

- 日程 2016/3/12(土)



特集「かたちの研究」、コレクション企画展示「かんじるかたち=あらかずかたち」から、画家たちがこだわったかたちに注目し、自分の気に入ったかたちを探し、新しい作品を作ってみましょう。

ひなまつり - ハニワのおひな様をつくらう -

- 日程 2016/2/28(日)
- 時間 13:30～15:00

対象 なし 定員 あり 参加費 あり 申込 要



粘土でハニワの形をしたひな人形をつくらう

ママ、パパにおすすめ

ミュージアムカフェ

FAAM Café (福岡アジア美術館)

福岡市博多区にある商業施設、博多マリパレインの7・8Fにアジアのアートを専門にコレクションしている美術館、「福岡アジア美術館」があります。今回オススメするのは、そちらの7Fにあるカフェ「FAAM Café」です。自然光が入る眺めのよいスペースにはいつも美味しいコーヒーの香りが漂っています。それもそのはず、こちらのカフェの代表(REC COFFEE)の岩瀬由和さんは、「ジャパンバリスタチャンピオンシップ2015」で見事2年連続優勝されたすごいバリスタさんなんです。なので、コーヒーのメニューが充実していることはもちろんですが、アジア・テイストのサンドイッチやカレーなど、フードもいろいろ楽しめます。ちなみに、スタッフの小松さんのオススメは、カプチーノと、チキンーマカリーとのこと。

そして、カフェにつながるラウンジには、アジアの絵本やおもちゃで遊べる「キッズコーナー」もあって、ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせイベントも定期的におこなわれています。こちらの利用を目的に、来館するキッズやママたちも多いです。

そして、「FAAM Café」のさらにすごいところは、持ち込みが可能なこと。オーダーしなくても休憩だけでもOKなんです。キッズ

展覧会を見たあとにちょっと休憩。そんなとき気になるのがミュージアムのレストランやカフェ。お子さん連れならなおのことです。このコラムでは、そんなレストランやカフェをご紹介します。



コーナーで遊んだあとに、離乳食やキッズ用のごはん持ち込みで家族ランチするのもよし、美味しいコーヒーでゆったり過ごすのもよし、なオススメスペースです。(蒲池 昌江)

福岡アジア美術館

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレイセンタービル7・8F TEL.092-263-1100 FAX.092-263-1105 http://faam.city.fukuoka.lg.jp/

● 開館時間 10:00～20:00(ギャラリーへの入場は19:30まで)

● 休館日 毎週水曜日(水曜が休日の場合はその翌平日)、12月26日～1月1日

● アクセス 市営地下鉄「中洲川端駅」下車、6番出口より徒歩すぐ 西鉄バス「川端町博多座前」バス停下車、徒歩すぐ

※ベビーカー貸出、授乳室あり

気になったら
どんどん参加
しよう!



ひょうご

三田市 有馬富士自然学習センター
 兵庫県三田市福島 1091-2
 TEL.079-569-7727
<http://www.city.sanda.lg.jp/gakushuu/arimafuji.html>

モグラの穴体験

●日程 12/19(土)
 ●時間 13:30~15:30
 対象 小学生以下 定員 なし 参加費 なし 申込 不要(当日受付)
 段ボールの迷路でモグラの穴を体験してみよう。

まゆだま工作

●日程 2016/1/30(土)
 ●時間 13:00~15:00
 対象 小学生以下 定員 あり 参加費 なし 申込 不要(当日受付)
 まゆだまに色や模様をかくて転がしてあそぼう。



竹中大工道具館

兵庫県神戸市中央区熊内町 7-5-1
 TEL.078-242-0216
<http://www.dougukan.jp/>

ちょこっと木工

●日程 土曜日、日曜日、祝日
 (他のイベント開催時には実施しないこともあります。)
 ●時間 10:00~12:00、13:00~16:00の
 お好きな時間(最終受付は15:30)

対象 なし※小学生以下保護者同伴
 定員 なし(参加者多数の場合はお待ちいただくこともあります)
 参加費 あり 申込 不要(当日先着順)



気軽に立ち寄って木工を楽しんでいただくプログラムです。おはしやスプーン、えんぴつ立てなど、約10種類の工作キットの中から好きなものをお作りいただけます。木のロボット「ロボキー」や「ひのきのねんど」など、幼児・小学校低学年からお楽しみいただけるキットもご用意しています。

しまね

島根県立 三瓶自然館 サヒメル

島根県大田市三瓶町多根 1121-8
 TEL.0854-86-0500
<http://www.nature-sanbe.jp/sahimel/>

サヒメルきッズサンデー

●日程 毎月第3日曜日
 ●時間 時間はイベント毎に設定
 対象 未就学児~小学校低学年
 定員 なし※プラネタリウムはあり 参加費 なし 申込 不要

自然のことを学ぶ創作デジタル紙芝居や、騒いじゃっても大丈夫な子ども向けの「きッズプラネタリウム」、サヒメルのマスコットキャラクター・テンピーとふれあえるテンピータイムなど、子ども向けイベント盛りだくさんの一日。

北の原ファンタジー 2016

●日程 2016/2/21(日)
 ●時間 ①11:00~12:00 ②14:00~15:00
 対象 小学生~未就学児 定員 あり 参加費 なし 申込 要



毎年恒例のミュージアムアテンドによる創作劇。環境や自然のことを一緒に考える、参加型のイベントです。ビジュアルドームいっぱいを使って、植物や動物、星のことを学ぼう!

とくしま

徳島県立 あすたむらんど子ども科学館

徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22
 TEL.088-672-7111
<http://www.asutamuland.jp/>

あそびのワンダーランド

●時間 11:00~14:00(各日共通)
 対象 幼児とその保護者 定員 なし 参加費 なし 申込 不要
 《ふくふく福わらい》

●日程 12/27(日)
 オリジナルの福わらいの工作のほか、様々な福わらいで遊べます。

《オニのお面》

●日程 2016/1/31(日)
 節分に向けてオニのお面を手作りします。また、節分やオニをモチーフにした遊びのコーナーもあります。



ふくおか

福岡市美術館

福岡県福岡市中央区大濠公園 1-6
 TEL.092-714-6051
<http://fukuoka-art-museum.jp>

ギャラリーツアー for キッズ

●日程 毎月第2土曜、日曜日
 ●時間 14:00~14:30
 対象 小学生と保護者 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



毎月第2土・日は、ボランティアさんが小学生向けにギャラリーツアーを行います。アート作品との楽しい出会いがありますよ!



ミュージアム Goods



片面塗装してある樹脂ミラーに絵を描いて、削っていくよ。できあがって中をのぞくと...

九州国立博物館

福岡県太宰府市石坂 4-7-2
 TEL.092-929-3294(担当直通)
<http://www.kyuhaku.jp/>

なりきり考古学者体験(実測体験)

●日程 12/12(土)、2016/1/16(土)
 ※どちらの日も同じ内容です。
 ●時間 ①10:00~11:30
 ②13:00~14:30
 ③15:00~16:30

対象 小学校4年生以上 定員 あり 参加費 なし 申込 要
 考古学者のおしごとの一部を体験するプログラムです! キャリパーやマコという道具を使って資料の大きさやかたちを調べてみよう!



第8回 子どもフェスタ

●日程 2016/2/20(土)、21(日)
 ●時間 10:00~15:00
 対象 中学生まで(希望があれば大人も)
 定員 申込 プログラム毎に設定 参加費 なし

「子どもたちを博物館へ」をテーマに、九博ボランティアが企画する子どもや来館者が楽しめる参加体験型プログラムを多数準備しています。

福岡アジア美術館

福岡県福岡市博多区下川端町 3-1
 リバレインセンタービル 7・8階
 TEL.092-263-1100
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/home>

アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

●日程 毎月第2、第4火曜日・第2、第4日曜日(12/8、13、22ほか)
 ●時間 11:30~12:00、13:00~13:30
 対象 未就学児および児童と保護者 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



アジア絵本って見たことある?アジア美術館ではボランティア・スタッフがアジアの絵本や紙芝居を楽しみお話ししてくれますよ。お話しに出てきた国の作品もありますので、ぜひ遊びに来てください!

ながさき

長崎県美術館

長崎県長崎市出島町 2-1
 TEL.095-833-2110
<http://www.nagasaki-museum.jp/>

2015 クリスマスのアトリエ

●日程 12/19(土)・20(日)
 ●時間 10:00~16:00(15:30最終受付)
 対象 5歳以上※小学生以下は保護者同伴
 定員 なし 参加費 あり 申込 不要



クリスマスに贈る世界にひとつのカードをつくります。無地のカードに、様々な質感の紙やシール、リボンなどをコラージュ!美術館の「アトリエ」で、素敵なクリスマスを迎える準備をしましょう。

おきなわ

沖縄県立博物館・美術館

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1
 TEL.098-941-8200
www.museums.pref.okinawa.jp/

ふれあい体験室

●日程 博物館開館日
 ●時間 9:00~18:00
 対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



ふれあい体験室は、自由にハンズオン展示資料=体験キットを利用することができる部屋です。各体験キットは、常設展示の内容と関連し、キットに触れる・見る・聞くなど五感を働かせ、遊びの中から沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」を発見・学ぶことができるよう工夫されています。ここでの体験を通し、常設展示の内容に興味をもってもらえるよう構成されています。ぜひ遊びに来てください。

★このコーナーで紹介しているワークショップは一例です。各ミュージアムは新しいワークショップを続々と企画、実施しています。最新の情報は各ミュージアムのホームページをチェックしてくださいね!

ミュージアムなクイズ

「重さはどれくらい?」

右の黒いモノは、長崎県の高島炭鉱でとれた石炭です。50年ほど前までは、お風呂をわかしたり、料理をつくる時にも使った身近なエネルギー資源で、その大切さから「黒いダイヤ」ともよばれました。さて、みんなは石炭を手にもったことあるかな? 重さは次の①~③のどれに近いだろう?



資料協力:西海市教育委員会

それぞれ、同じくらいの大きさの……

① スポンジ やく20グラム



お皿を洗うスポンジみたいにとっても軽いかな?

② おにぎり やく300グラム



大きめのおにぎりくらいの重さはあるのかな?

③ 石ころ やく600グラム



見た目はまさに石(岩石)そのものだよ。

出題:齋藤義明 イラスト:小沼佳菜実

ちょっと豆知識

長崎の「軍艦島」

2015年7月の世界文化遺産登録で注目されている軍艦島は、小さな島を人工的に埋め立てた石炭をとる島でした。そのかたちから「軍艦島」よばれています。今は無人島ですが、いばん多いときには5,300人も住んでいました。同じ土地の広さあたりでくらべると、当時の東京の9倍もの数の人がいた(人口密度)のです。



長崎の軍艦島(端島炭坑)「明治日本の産業革命遺産」

◆ さてどれだ? こたえは19ページ! ◆



未来を担う子どもたちへ

ミュージアムは、エアコンの効いた公園？

兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲さん

今回は、兵庫県三田市にある兵庫県立人と自然の博物館（以下、「ひとはく」）の中瀬館長にユースがインタビューしました。ひとはくは、こども☆ひかりプロジェクトの発祥の地。ランドスケープデザインの専門家という、博物館としてはちょっと異色の中瀬館長は、公園やミュージアムでの子どもの遊びや学びをどのように捉えておられるのか、おききました。

人と人が交流できる公園が理想

ユース（佐藤） 公園の専門家と聞いてもイメージが湧かないのですが、どのようなことを研究してこられたのですか。

中瀬 家をつくるとき、人々がどんなふうに生活をするか、考えて設計しますね。公園も同じで、どんな人がどう利用するかを考えて、緑地や施設の配置をします。さらに、地域全体の設計の一環として、風景や景色、街中の緑なんかを意識して、公園という空間をどう整備し維持していくかというのが、私の専門です。日本や諸外国の歴史もふまえてね。



中瀬 勲（なかせ・いさお）

兵庫県立人と自然の博物館館長。大阪府立大学助教授から、博物館設立準備室へ転出し、博物館環境計画研究部長、副館長を経て、平成25年より現職。その間も、日本造園学会会長、兵庫県立淡路景観園芸学校長等を歴任。コミュニティデザイン、まちづくりといった、前例のない分野を取り込んだ博物館を統率し、「人」を重視する運営スタイルを切り拓いた。阪神・淡路大震災では、阪神グリーンネット事務局長として、「緑からの復興」に尽力した。有馬富士公園運営・計画協議会長として構想段階から育て上げた兵庫県立有馬富士公園は、市民参加型公園運営のパイオニアとして知られる。

ユース（佐藤） 公園って、そうやってできてたのですね…。親子にとって理想的な公園とは、どんな公園でしょうか。

中瀬 子どもはそこに来た子たちと一緒に遊んで友だちになる。親は子どもが自由に遊んでいるのを見守りながら、親同士で話をする。そういう交流のある公園が理想の公園かな。公園は人と人をつなぐ良いきっかけを与えてくれる場所だと思うんです。

私には孫が7人いるんだけど、公園で遊ばせるとすべり台の上でどっちが先に滑るかで喧嘩になる。でもこの経験で、子ども同士が付き合い方を学んで、社会性も身につけていくんだ。危ないことをしたらいけないとか、怪我するとかも含めて。

学びと遊びは一体

ユース（佐藤） 博物館は教育施設ですが、中瀬館長は、遊びと学びをどのようにお考えですか。

中瀬 私は、遊びと学びを区別したらいけないと思うんです。遊びながら学び、学びながら遊ぶ。遊びと学びの一体化が大事なんじゃないかな。

ユース（陶木） 確かにそうですね。ミュージアムワークショップも、遊びの一環だと思いますが、子どもたちはそこから何か学びを得て帰っているように感じます。

中瀬 そうそう。それが「学習」だよ。

例えば石を見ても子どもはただの石なら面白いと思わないけれど、その中に化石があるとすれば途端に興味を示す。子どもの興味をいかに引き出すかは、我々スタッフにかかっているんだ。日本の教育では暗記することが求められて、大人は無理に教えようとするけれど、子どもは遊びの中から自然と学んでいくことだってあるし、その学び自体が、人としての成長だよ。

ユース（佐藤） 今日の子どもの遊びはさまざまですが、子どもにとって本当の遊びとはどういう遊びのことをいうのでしょうか。

中瀬 戦後にさかのぼると、何もなかったから子どもたちが周りにあるものを使って皆で工夫して遊んだ。それが面白かった。ところが、高度経済成長を終えてテレビやおもちゃが出てくると、子どもの遊びは型にはまったものになった。あのころに比べれば生活は豊かになったかも

子どもは遊びから何か学んで帰っているように感じます。陶木



しれないけれど、子どもに与えるばかりじゃなく、もっと自由に遊ばせるべきでしょう。

ユース（陶木） そうですね。今では公園にさえ行かず、室内で遊ぶ子たちも多いですよね。

中瀬 それは子どもの責任ではなくて、保護者、大人の社会の責任なんじゃないかな。危ないからと言って自由に外に出して遊ばせないから、子どもは室内で遊ばざるを得ないでしょ。

ユース（陶木） 社会が子どもを閉じ込めてしまっているのかもしれないね。

お豆腐屋さんがプレイリーダーだった

ユース（佐藤） ところで、中瀬館長はどんな子どもでしたか？ ミュージアムや公園との関わりはどのようなものでしたか。

中瀬 ははは。私が子どもの頃はミュージアムも公園もなかったですよ。そもそも日本にそういうものがなかった。私が子どものころは昭和30年代で空き地や神社の境内が公園代わりで、そこで遊んでいたな。

私は農村の生まれで、唯一あった店がお豆腐屋さんと駄菓子屋さんだった。駄菓子屋さんは皆が集まる場所で、駄菓子を買ってその場でみんなで食べてね。お豆腐屋のおじさんは朝早い仕事が終わると午後は暇だから、一緒に野球したりしてくれました。今考えればお豆腐屋さんが「プ

子どもにとって本当の遊びとはどういう遊びのことをいうのでしょうか。佐藤



公園の中にある兵庫県立人と自然の博物館。建物右手前には、新宮 晋さんの作品が見える。博物館を訪れた学校団体の多くは、公園でお弁当を食べ、元気に遊ぶ

レイリーダー」だった。

ユース（佐藤） じゃあ、学校が終わるとみんなで外に出て遊んでいたのですか。中瀬 そうそう。家の中になんかいなかった。外で日が沈むまで遊んだよ。それから、



こども☆ひかりプロジェクト発足のきっかけのひとつ「ひとはく Kids キャンパイン 仙台」(2011年7月)にて。「また来るよ」と約束してしまった中瀬副館長(当時)

家の近くに川があってよくそこで遊んだ。川を泳いで渡らないと仲間に入れてもらえなかった。もちろん流されたりもしたけど。今はとてもそんなことできないな。

ミュージアムはエアコンの効いた公園！

ユース（佐藤） ひとはくの館長として、子どもたちにはミュージアムをどのように利用してほしいですか。

中瀬 それこそ、自由に使ってもらって

いいんじゃないかな。ミュージアムはエアコンの効いた公園みたいなもんだ。

ユース（佐藤） 最後に、全国の親子へメッセージをお願いします。

中瀬 もっとフリーにリラックスして遊んでほしい。外に出る前からあれこれ言わずに、とりあえず出てから考えればいいんだから。それから、徹底的に設計されたテーマパーク（伏せませんがご想像のとおり）が大人気だけれど、ミュージアムや公園に行った方が、絶対がいい。いろんなものを自由に見られて、子どもの感性や好奇心を引き出せるからね（笑）

ユース（全員）

今日はどうもありがとうございました。

もっとフリーにリラックスして遊んでほしい。中瀬





国立民族学博物館 企画課標本資料係 **まつだまお 松田万緒さん**

グローバルな視点で、世界との出会いを紡ぐ

ミュージアムにあるのはモノだけじゃない！
そこには必ず、素敵な人がいるのです。
私たちユースがこども☆ひかりプロジェクトで出会った、
ミュージアムで輝く大人を紹介します。

国立民族学博物館（愛称：みんぱく）は、世界の民族、社会や文化を中心とした研究・展示を行っている、博物館を持った研究所。ここで標本資料係を担当する、松田万緒さんにお話をうかがいました。

—みんぱくの標本資料係って、主にどんなお仕事ですか。

松田 34万点以上の標本資料を、カビや文化財害虫から守りながら大切に保管、活用するために、温湿度を管理したり、収蔵庫の改築計画をたてたりしています。また、実際に手で触れることのできる展示が多いので、毎朝1時間半かけて破損しているものはないか、危険なところはないか点検しています。みんぱくには今年の4月から勤めているのですが、今までの仕事と大きく変わったので、保存修復がご専門の先生方に教えていただきながら奮闘の日々です。

—以前はどんなお仕事ですか？

松田 キッズプラザ大阪で体験型の展示物の企画や展示場の運営をしていました。ワークショップの企画も多かったです。画用紙に絵を描き、小さなコンピューター



ボストン・チルドレンズ・ミュージアム

の基盤につなぐと絵から楽器の鍵盤のように音が鳴るというワークショップをしたのですが、これはアメリカのボストンチルドレンズミュージアムでインターンシップをしていた時に知り合った研究者の方たちと一緒に考えました。



絵楽器のワークショップの様子

—ボストンでインターンシップをされていたから、英語がお上手なのですね！ところで、ボストンチルドレンズミュージアムって？

松田 体験型・参加型の、遊びを通して楽しみながら学べる子どものためのミュージアムです。京都市から移築された古い町屋もあり、畳に座ったり布団に寝転がったりできます。私は京都出身なので、それを生かして子どもたちに町屋を紹介したり、京都からきた職人さんにイベントに出て頂く際の通訳をしたりしました。ボストンチルドレンズミュージアムは、地域の子もたちやその家族、教育関係者にとってどんなコンテンツが必要かをしっかりと調査・検



討した上で運営が行われています。ミュージアムがどうあるべきかを、私はここで学びました。

—ボストンでの経験が、松田さんの原点なのですね。

松田 そうですね。将来的には来館者の方に、いろんな人がいていろんな暮らし方があるんだなあ、世界に興味を持っていただけのような仕事をしていきたいと思っています。



松田さんのように地域の子もたちや家族への教育性も踏まえて、大切な資料を守ってくれる人がいるから、私たちも、何十年先の人も、貴重な資料を見て学び、楽しむことができます。グローバルな視点でミュージアムを見つめる松田さんは、私たちと世界との出会いを紡いでくれる存在です。

(萱場 優紀)



国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
TEL.06-6876-2151
<http://www.minpaku.ac.jp/>
大阪モノレール「万博記念公園駅」、徒歩約15分



大阪教育大学 名誉教授 **田中恒子さん**

おとなの美術鑑賞、子どもの美術観賞



田中恒子氏。住居学のスペシャリストとして長年大学で教鞭をとりながら、大阪教育大学中等部において校長職も務める。また、現代アートのコレクターでもあり、2009年には和歌山県立近代美術館で田中恒子コレクション展が開催された。

ある美術館に私の現代美術コレクションを寄贈したので、毎回展覧会のご案内をいただくことができます。それ以前から、企画展の内容によっては出かけていました。展覧会は学芸員の方々の日頃からの研鑽の賜物だと推察しています。ここ数年、夏休みに子どもたちをターゲットにした展覧会がひらかれています。美術館の展覧会がもっている一種の堅苦しさがなくて、おとなも楽しめます。全国の美術館にもこのような企画が広がっているようです。私が初めて美術館の展覧会に行ったのは、高校生になってからです。それまで行ったことがあったのは、百貨店での催事での私も出展(?)している児童画展くらいでした。

今の子どもたちは、学芸員の方々が選びぬいた作品を、自分で感じたり考えたりして楽しめるのです。考えぬかれたガイドブックもおいてあります。「この作品は、こう鑑賞しなさい」などとは一言も書いてない。グループでやって来ている子どもたちは、「ボクはこう思う」「私はこう思う」と口々に思いを語っています。近くによってそれとなく聞き耳をたてている私は、その言葉にハッとしたり、分かったつもりでいた自分を反省したりします。

おとなは美術館で、「美術鑑賞する」と考えていますが、子どもたちの様子を見ると、「美術観賞（見て楽しむこと）」をしています。作者はどんな考えでこの作品を創ったのだろうかと思いをめぐらせています。おとなは分かったふりをしてしまいがちですが、子どもは自分が感じたことを率直に言葉にできるのです。うらやましいことです。この時期にしか持っていない能力を表現することが出来るのです。

おとなが子どもから学ぶべきことは沢山あります。美術館では「作品にさわっては いけません」「走ってはいけません」「喋

てはいけません」と注意されます。さわると走るのはいけないにしても、喋るのは大声でなければ許されると思います。自分の感じたこと考えたことを、他者と分かちあうのは表現のはじまりではないでしょうか。

他にも子どもたちのようすを見ていて感動したことがあります。立体作品の前で床に寝て、斜め下から見ているのです。びっくりしました。おとなの目の位置では全く見えない形を見ているのです。美術館で寝ころぶなど、多分これも許されない行為でしょう。どう見えるんだろう。私もしてみたい。その姿を見て私は感動していたのに、恥ずかしくてできませんでした。鑑



作品を鑑賞する子どもたち 福岡市美術館にて

賞力も観賞力も子どもに劣っていると、自分のことを切なく感じました。

全く別の話。私は3年間、附属中学校の校長をしていました。美術の非常勤講師の先生と仲が良かったので、彼女は持ち時間を1コマ分だけ私に自由に使っていいよと譲ってくれました。私は手持ちで運べる作品を自宅から50点ほど学校へ持ってゆきました。美術室にぐるとその作品を並べて、生徒たちに、「最初の10分で自分が話し合いたいと思う作品を選んで下さい」「同じ作品を選んだ人はその人と並びか向かいあうかして、10分見てください」

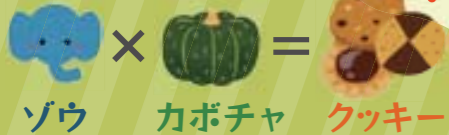
「話相手を他の作品にしようと考えた人は席を譲って下さい」と言いました。最初の20分はザワザワと喋っていた生徒たちは、残りの30分で400字の物語を書きました。美術作品をきっかけにして、悩み多き中学生たちが、自分の内面を語ってくれました。みんなありがとう。私は生徒一人ひとりの多様性に感謝しました。意外にも、この授業は、国語の先生に評価してもらうことができました。点数をつけない(評価をしない)立場の校長だからできたことだとも言えますが、自己の内面の表現を定型化せずにできたからです。実はその前に、その国語の授業での読書感想文を読ませてもらっていました。書き方がみんな似ている。授業中に出された課題だとなってしまうのかと案じていた私は、美術作品観賞という新手の方法で生徒たちに近づけることが分かったのです。想像と創造こそ教育の真髄。美術教育そのものですね。



美術館で、学校で、美術作品に出会う子どもたちの感性に耳を傾ける田中恒子先生。身体を動かし、語りながら作品と向かい合えば、美術作品と子どもたちとの距離はどんどん近づいていくのです。ミュージアムが、子どもと大人にとって自分を表現することや表現の多様性を楽しめる場所になるよう、私たちも活動を続けたいと思います。

(松田 万緒)

突撃インタビュー



とっておき かぼちゃで

とっておきな体験を…☆三

12月6日、子ども☆ひかりプロジェクトでは、子どもたちを対象にクリスマスツリーに飾るかぼちゃを使ったクッキーオーナメントづくりを開催します。

でも…このクッキーはただのクッキーじゃないんです！その秘密のカギを握る明成高校の高橋先生と八木山動物公園の阿部副園長に突撃インタビューをしました！

ユース小沼 ただのクッキーではないって、どういことですか？

高橋先生 カボチャのクッキーを作るのですが、このカボチャ、実はこの明成高校の学生たちと育てて、秋に収穫したものなんです。

ユース小沼 ええ！秋に収穫って…冬までカボチャは腐ったりしないのですか？

高橋先生 大丈夫。長期保存できるその名も「とっておきかぼちゃ」を使用しますから。

ユース小沼 「とっておきかぼちゃ」なんて名前、

明成高等学校 調理科 高橋信社 先生

宮城県内で地域の食文化資源を活用した食の学びを实践、地域づくりを進める。現在味噌、白菜、米、かぼちゃの食材を活用した食の学び活動が進行中。どの食材も人と自然、食、社会との関わりをテーマに食の学びを構成。

八木山動物公園 副園長 阿部敏計 さん

飼育員から現場たき上げ27年。絶滅に瀕しているシジュウカラガンの渡り回復事業に長く携わる。今年八木山動物公園開園50周年を記念して自ら白いしっぽをつけて案内する「尾も白い福園長のガイドツアー」が人気。

子ども☆ひかりユース 小沼佳菜実

宮城教育大学3年、現在小学校の教員を目指し勉強中。2年前から子ども☆ひかりプロジェクトで活動を始め、今回プロジェクト初の親子で楽しめるとっておきかぼちゃを使ったクッキーづくりの企画・運営リーダー。

ユース小沼 初めて聞きました！でもどうしてそのカボチャを使うんですか？

高橋先生 それは…八木山動物公園とふか〜い関係があるんです。阿部副園長にきいてみてください。

ユース小沼 長期保存できる「とっておきかぼちゃ」と八木山動物公園とどんな関係があるんですか？

高橋先生 ありますよ！「とっておきかぼちゃ」は八木山動物公園で飼育されているゾウさんのふんを肥料にしているんです。

ユース小沼 え〜！そうなんです！なるほど。そういえば、八木山動物公園は、今年で開園50周年だそうですね？おめでとうございます！

高橋先生 お祝いの気持ちも込めて、ゾウさんのめぐみ（つまり、ふんです）で育ったカボチャでクッキーを作ろうということになったのです。

ユース小沼 「とっておきかぼちゃ」がゾウさんのふんを肥料に作られていることは分かりました。でも、数ある野菜の中から、どうしてカボチャが選ばれたんですか？

高橋先生 それは、カボチャが仙台にゆかりのある野菜だからです。

ユース小沼 え！？ どの関係があるんですか？

高橋先生 日本種のカボチャができたのは、仙台が初めてなんです！

ユース小沼 それは知りませんでした！普段食べている野菜が地元発祥なんてなんだか親近感がわきますね！

高橋先生 食は誰にとっても身近なものです。食を通して、地域、人、動物、植物がつながっていることを知ると、とても素敵な気持ちになりますよね。

ユース小沼 そうですね。ゾウさんやカボチャに感謝しながら、「とっておきかぼちゃ」でおいしいクッキーができていいですね。

子ども☆ひかり ミュージアムストリート
produced by 子ども☆ひかりユーススタッフ

日時 2015年12月19日(土) 10:00~15:00 **場所** 仙台市八木山動物公園 ビジターセンター

申込不要・参加費無料！
(ただし、八木山動物公園の入園料が必要です)

ドレスコードは「海のなかまたち」

化石のレプリカづくり、掛け軸づくりや、アート作品制作などなど、全国のミュージアムと子ども☆ひかりユーススタッフが織りなす、楽しいプログラムが体験できます！
ぞうさんのめぐみから作ったクッキーを使ったプログラムもあるよ！

海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

詳しくは「子ども☆ひかりプロジェクト」ホームページにて！

子ども☆ひかり 検索
http://www.kodomohikari.com

ミュージアムなクイズ ② おにぎり やく300グラム こたえ

石炭(せきたん)は石の仲間です。でも、同じ大きさの石(岩石)と比べると半分くらいの重さしかありません。

石炭は、大昔の植物に高温と高い圧力を長い時間かけてできた燃料です。

石炭の特徴は、「火をつけると燃える」という性質です。

わたしたちの生活のなかで見かけることはほとんどありませんが、今でも鉄をつくるために欠かせない燃料として日本で1年間に6,000万トン以上の石炭が使われています。



はかりに乗せてみると、310グラムでした



石炭をとっていた様子の再現(西海市崎戸歴史民俗資料館)

長崎県西海市崎戸町も「軍艦島」のように石炭で栄えた島でした。西海市の崎戸歴史民俗資料館では、当時の資料や写真などが展示され、館の職員の方から栄えていた当時の様子などを詳しく解説していただけます。

編集後記

●原稿を書く時、ずっと思っていました。「レポートよりはかどっている」ということに(笑)。頼りになる大人の方々のおかげです。そして、楽しんでいただければ幸いです。(大松 真菜)

●今回もクイズのイラストを描かせてもらいました〜。クイズを考えたときみなさまのイメージが膨らむといいな(*^^*)そして、どんなゾウさんのめぐみクッキーができるか楽しみ♪(小沼 佳菜実)

●子ども☆ひかりプロジェクトでは、活動の度に「すてきな人」との出会いが必ずあります。その「すてきな人」や「すてきな人」が活躍されているミュージアムの魅力が読者のみなさまにも伝わりますように！(萱場 優紀)

●子どもたちと保護者向けの「ファミリーDAY」に、あえて大学生である私が体験しに行ったことで、より幅広い年代の方々にワークショップの魅力を伝えることができたのではないかと思います。(佐藤 萌)

●今回は頼もしい後輩ユースに大変助けられて無事発刊することができました。一人でも多くの方にミュージアムのおもしろさが伝わりますように。っという私もまだまだ発掘中です。(征矢 彩香)

●素敵な大人のお話をたくさん聞けるのもユースの活動の魅力の1つです。私も4月から社会人なので、今号に登場して下さったみなさんを目標に頑張りたいと思います！(三上 響)

「ミュージアムキッズ」vol.3も、お楽しみに！

ミュージアムキッズ 入手するには？

★ホームページからお申し込み
5冊1,000円+送料で頒布いたします。ご活用ください。

★「子ども☆ひかり CLUB」メンバーに！
子ども☆ひかりプロジェクトを支援くださる方々を募集しています。年会費は個人3,000円、法人10,000円以上。ご指定の住所へ年2回「ミュージアムキッズ！」5部をお届けするほか、オリジナルグッズのプレゼントや割引頒布、キッズにおすすめの各種ミュージアムイベント情報を、Eメールにてお届けします。ホームページからお申し込みください。

★この号を置いてくださっている施設で(FREE)

野外博物館北海道開拓の村、青森県立三沢航空科学館、岩手県立児童館いわて子どもの森、仙台市太白山自然観察の森、仙台市縄文の森広場、仙台市八木山動物公園、地底の森ミュージアム、スリーエム仙台市科学館、せんだいメディアテーク、エル・ソーラ仙台、ショップ&ワンダー アエル、環境水族館アクアマリンふくしま、ふくしま森の科学体験センター ムシテックワールド、南相馬市博物館、群馬県立ぐんま昆虫の森、千葉市科学館、日本科学未来館、川崎市市民ミュージアム、新江ノ島水族館・なぎさの体験学習館、新潟市水族館マリニピア日本海、静岡科学館る・く・る、愛知県陶磁美術館、名古屋市美術館、京都国立博物館、キッズプラザ大阪、三田市有馬富士自然学習センター、神戸アートビレッジセンター、神戸ファッション美術館、神戸市立小磯記念美術館、竹中大工道具館、明石市立天文科学館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立人と自然の博物館、島根県立三瓶自然館サヒメル、徳島県立あすたむらんど子ども科学館、九州国立博物館、福岡アジア美術館、福岡市美術館、石橋美術館、沖縄県立博物館・美術館(なくなり次第配布終了)

★専門誌「ミュゼ」を定期購読！(おまけ)

日本のミュージアムがわかる専門誌「ミュゼ」定期購読の方には、もれなく同封いたします。アム・プロモーションのサイトからお申し込みください。
http://www.musee-umpromotion.com

準備号を含む過去の誌面は、子ども☆ひかりプロジェクトのホームページでご覧いただけます。